

## ユマニテク医療福祉大学校 令和6年度自己評価結果

令和7年2月21日

項目	評価ポイント	評価・課題
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校の理念・目的・育成人材像は定められているか</li> <li>●学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・関係業界・保護者等に周知されているか</li> <li>●各学科の教育目標・人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>学校の理念・目的・育成人材像・特色については、ホームページ(HP)、学生便覧、オープンキャンパス(OC)等で周知している。年2回教育課程編成委員会を開催し、学校の理念・目的・育成人材像・特色について説明し、意見を収集している。入学時にオリエンテーション等を通して学生に周知している。</p> <p>課題:養成施設指定規則に従い、教育理念に従う特色あるカリキュラムを構築していく必要がある。</p> <p>改善策:カリキュラムマップを機会あるごとに、周知する。HP、ソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用し、各学科の活動を紹介し、本校の特徴、教育目標の理解を促す。卒業後も含めた人材育成に向けたロードマップを示す。</p>
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか</li> <li>●情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>学籍管理システムと成績管理システムの連携強化をしていく必要がある。三重県 SDGs 推進パートナーに相応しいペーパーレス/オンライン化の意識を持ち、定着を目指す。</p> <p>課題:成績管理システムが機能しない部分の運用について、毎年課題が残っており、年度末に事務作業が煩雑になる。</p> <p>改善策:成績管理システムは教職員の努力で、急場をしのいでいるが、抜本的な見直しが必要である。全体的なデジタル化の遅れがあり、インターネット出願等の対応ができておらず、学園本部との連携が重要である。</p>
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>●職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>関係施設や業界団体等と連携し教育課程の検討を行っている。多職種連携教育は看護学科と合同で開催した。外部講師を招聘して、校内教員研修会を年2回実施した。</p> <p>課題:基礎学力の低下や理解力の乏しい学生が増加している。</p> <p>改善策:教授方法や国家試験指導方法の工夫が必要となる。</p>
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>●就職率の向上、退学率の低減が図られているか</li> <li>●卒業後のキャリア形成への効果を学校の教育活動の改善に活用しているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>昨年度の国家試験合格率は、理学療法学科 100%(95.2%)、作業療法学科 100%(91.3%)、歯科衛生学科 100%(92.4%)、介護福祉学科は 46.4%(留学生含む)(71.5%)であった(カッコ内は全国平均)。就職は、ほぼ100%関連分野にしている。資格取得に関しては、学内での教員による個別指導に加え、アプリケーションの活用、業者模擬試験を実施している。現役合格できな</p>

	か	い学生に対するフォローアップ体制を構築している。 課題:介護福祉学科は8年連続退学者5%未満を達成した。全学科、さらなる、退学率の減少に向けた対策を講じる必要がある。 改善策:キャリア形成の把握のために、卒業生アンケート実施のための検討を継続する。
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>●高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> <li>●学生相談に関する支援体制は整備されているのか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>スポーツ大会を四日市総合体育館及び第2体育館を会場に実施した。留学生との交流会、学生企画を立案し、盛り上がった。配布物はペーパーレスに努め、教職員や学生運営スタッフのみへの配布にとどめる等の工夫をした。求人票は、在校生だけでなく卒業生も閲覧できるようにして、相談があった場合は個別対応。健康診断を年1回実施し、その結果を把握した。同時に、各種抗体検査を実施し、臨床実習に向けた予防接種を促した。また、学生の心身状態については、必要に応じて教員間で情報共有を行っている。就職説明会や就職担当者との面接を行うことで、より自分にあった就職先選びができています。しかし、就職試験でうまく力の発揮できない学生もいるため、履歴書のチェック、面接の練習を全員に行った。卒業生に対しても、就職相談や図書館の利用ができるようしている。留学生に対する学習や生活の指導を行った。県内高校への出前授業やバス見学等のキャリア教育・職業教育への協力を行っている。定期的なカウンセリングを実施しており、有効に活用されている。</p> <p>課題:学生周知の方法として、アプリケーションの導入を検討する。</p> <p>改善策:様々な修学支援の制度について、学生に周知し、必要な学生に届くよう教職員で支援する。</p>
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>●学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>学外実習施設については、必要に応じて各学科で登録申請を行っており、必要な備品についても計画的に購入している。</p> <p>昨夏の南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」の発令を受けて、校内の点検、見直しを図った。外傷救急箱を設置し、外傷救急講習会に参加して、各部署で人材育成に努めた。</p> <p>課題:経年劣化による外壁補修、LED化、校舎内防災対策(窓ガラス飛散防止、転倒防止)。</p> <p>改善策:学園の今後の経営計画に従い、必要な施設整備に関する修繕計画を立案する。除細動器(AED)の使い方の講習会を開催する。</p>
(7)学生の受け入れ・募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学生募集活動は適正に行われているか</li> <li>●高等学校等接続する機関に対する情報提供等の</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>理学療法学科は職業理解を促進するためにOCで「一緒にチャレンジ」をリニューアルして企画した。歯科衛生学科は教育訓練給付金制度が利用できることを踏ま</p>

	<p>取組が行われているか</p> <p>●生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか</p>	<p>え、社会人募集も積極的に行った。介護福祉学科は現役生(内部進学を含む)及び留学生(内部進学を含む)には施設奨学金の施設等とも連携を図り、就職まで見据えた進学の検討を促すような対策を検討した。委託訓練生も確保した。連携する企業とは、施設奨学金(理学療法学科、介護福祉学科)や「学生等の学びを継続するための緊急給付金」、「公益財団法人穴吹キヌエ忠嗣教育基金により奨学金制度」等の周知を行った。高等教育の修学支援新制度(授業料等減免)の対象校の更新手続きを行った。</p> <p>課題:OCから入学に結び付けることが重要である。少子化に向けた募集活動を模索する。</p> <p>改善策:今後も、SNSでの発信を継続していく。広報募集業者と連携を図る。高大接続(入学前教育)として、入試からスムーズな入学につなげるための機会を設けているが、各学科で十分な結果にはつなげられていない。</p>
(8)財務	<p>●財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>●中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>法人として、理事会の承認、監査等は適正に行われている。財務基盤においては、修繕費、人件費、物価高騰による経費の増加傾向があり、特に今年度は人件費の見直しを行ったため、その分修繕費を抑えることでバランスを図っている。</p> <p>課題:学生数は学科によりばらつきがあり、全体として定員を充足していない。退学者数については個別面談や自習時間を指導することで一部改善している。</p> <p>改善策:引き続き入学者数の確保と退学者数の減少、経費支出の見直しと予算化、業務の効率化を図る。</p>
(9)法令等の遵守	<p>●法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>障害者差別解消法に関する研修を開催した。</p> <p>課題:毎月有給消化の状況を確認し、必要に応じて、促しているが、時期の偏りが生じる。</p> <p>改善策:有給消化は年2回奨励月を設けて、見直しを図る。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<p>●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>●生徒・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>介護福祉学科は塩浜文化祭2024に参加協力と学生ボランティア活動を行った。歯科衛生学科は近隣小学校及び関連施設等での郊外実習を実施した。理学療法学科では、地元スポーツ競技のサポート支援を行った。作業療法学科は休暇を利用した外部の活動を推奨した。教員が地域住民に対する「はつらつ健康塾」の講師を務めた。</p> <p>課題:学園や学園内他校との連携した取り組みを模索していく。</p> <p>改善策:地域住民への地域研修会の講師を務める。</p>
(11)国際交流	<p>●留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか</p>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>理学療法学科、作業療法学科で2000年より始めた米国ロマリダ大学との学士取得提携プログラムで2009</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>● 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> <li>● 学内で適切な体制が整備されているか</li> </ul>	<p>年まで卒業生を輩出したのを皮切りに、16年間ロマリンダ大学での海外研修を実施した。作業療法学科はWFOT(世界作業療法連盟)の認定校であった。歯科衛生学科は、米国ハワイやグアムでの研修を開催した。介護福祉学科は2018年より、海外留学生の受け入れを開始した。近隣日本語学校と連携を行い、適切なOCや入学前教育を通して入学説明を行っている。</p> <p>課題:生活支援、ビザの更新手続きの支援等を行なっているが、業務が多岐にわたっている。</p> <p>改善策:介護福祉学科の日本語能力の向上のため、日本語に授業導入や介護実習を通して一定の日本語力の向上は認められるが、全ての留学生の国家試験合格までには至っていない。</p>
--	--	--